



楚八石

全



興



1923

45
1923

可般圖

一番

丸

古池や蛙を心よりか

右

芭蕉

仙化

しにいけと轍つくるは浮葉か

此のいかにては色知れぬ設

一巻より四巻まで成る

一巻より四巻まで成る



にがくの泉をのくりて
まふ。は魚し

才二番

丸 勝

素堂

面乃蛙コハ色言にふるしと色也

丸

文麟

泥龜と門をぬる蛙哉

小田乃銀才コハとく物色と
ふみりる下兩のかとらと色

言く丸然泥乃津いり力を
よししと才の才哉樂し
ゆる龜乃隣のかとら形ん
門を並ふゆと云り蛙を
ここのまのさおねと色丸乃
蛙乃るるしと下い強き
ゆる

才三番

丸 勝

嵐蘭

さうくと我ツラ頬をけねん

右

孤屋

人あはれを以てあると歌の「蛙か

た中り乃七文字の強さを

以て五文字並にゆく形なり

うねりも田圃と云ふ句オホ

中にをば句にうねりゆく哉

よのよひゆくこと世の文字を

よをうん城よふひゆく下

よを鬼拉トシヒシク一辨よれりたり句

亦く侍ん右足音をよとて

志何し時てくぬれ面白く

侍りりぬれたの方捨てて

才四番

いづれを

九

持

川翠紅

木ねりの種よりあそび蛙か

右

濁子

嘉貞く妙子かく向蛙か

飛く蛙まきせのあそび

しんたにそびくむし人
乃心けりさゆはくま
まはやけりあうくわ
うくけりくわ成人ふ
これつらんとかうし
拾

才五番

丸

李下

簑うらうらまはうらんら蛙川

ち勝

去来

一畦^{アサ}をまうしはやむ蛙成

花乃白まはうらんら
水鶏の形とすはあし
早苗のはりまをこの
簑うらまの性情はあ
やけりまは田畦をう
似意^{コニヤカ}懐^アく閑^ア蛙聲^ア於と
りまのまはあうら
長^{ナガ}是^{コノ}群^ア蛙^ア苦^ク相^ア混^マ有^ル時^{トキ}也^{ナリ}作^ス

不平鳴とらぬ白河のついで
ふか〜〜

才六番

虎持

友五

鈴シズ〜〜〜
鈴シズ〜〜〜
鈴シズ〜〜〜

志

瑛樹

足タラシの目と牛ウシの角あはれ蛙カエル

ちりり書カキ〜〜〜

〜海ウミの蛙カエル心ココロ〜〜〜

物モノの足タラシ移ウツリさり形カタ見ミ中ナカ感カンを

〜志シのり〜角カドあはれ

とそむ力チカラをツケた〜

〜ふか〜〜〜

ら〜野ノ徑ミチ乃ハ〜

奇オドロクの可カお持モチ

才七番

虎

朱絃

備ツクリい〜入イおの〜亦モト淋シ

右勝

紅林

かゝ道やまの舟よ入蛙

雨乃後の入おをすう僧

寺りかしんたに於い

寂く可しゆきと何道

の舟り入つる心も先

く舟玉解も右を以て丸

結方りも心せうに

才八番

丸

芳室

夕影や鏡はなまの舟が蛙

右勝

扇雪

晴乃念佛くしんかつ

花田ものかつらつ山よ

うけく西をさかたへう

大に氣色はとあゆ

右思ひいふ舟もせめて

念佛くしん草庵の舟

六

むれ勝りしこと

才九番

花勝

琴風

夕月長畦より月を干し下

花

水友

飛うつ猫を追ひ小蛇真

身細ゆひ蛙夕月長
叶ひ付る花枝うつら
時付の如くに云ふ秋

大小のかく丸倉行はる

まの来りては海名所と
しは人用寒乃地をさ
いひむはら一白多うり
か(さ)うくに工業乃強
弱をとりは花のちかく

才十番

花

徒南

あはれこの音え頼らむ蛙

右 勝

松風

と長みと蛸 けふみ寛うけ

半、檐、疎雨作愁、蝶、鳴蛙、似

與、幽、人、語、け、く、と、時、は、

あ、う、海、の、こ、よ、に、荷、換、ふ、

魚、り、水、を、も、と、り、あ、と、し、海、を

く、く、云、深、の、ふ、く、は、思、ひ、道

竹、を、か、つ、る、子、立、文、字、を、り、乃

云、流、一、慈、鎮、西、行、の、台、質

中、あ、く、海、の、旅、が、こ
り、れ、と、右、お、物

中十一番

丸

全峰

花、の、こ、く、海、を、け、く、心、が

右 勝

流水

藻、か、く、流、を、流、せ、を、覗、く、蛙、が

海、來、つ、て、幽、地、を、く、り、蛙

同、く、日、一、足、獨、舉、静、は、

く寒葦^イの睡^イか公樂^イ！
い外^イ鷺^イを^イく^イ日^イ予^イ人^イ身^イ向^イ
つ^イ潔^イ白^イ中^イほ^イる^イ風^イを
要^イせ^イ只^イ魚^イを^イう^イや^イ心^イ有^イ
とは争^イひ^イや^イ困^イ中^イ一^イ意^イ
く^イむ^イ人^イを^イ云^イの^イ潔^イう^イれ
た^イ蛙^イの^イ志^イ高^イ遠^イも^イを^イ
い^イひ^イこ^イく^イと^イと^イと^イ見^イ
解^イか^イく^イ海^イを^イ行^イく^イ

才十二番

丸持

嵐雲

う^イさ^イう^イや^イま^イみ^イか^イく^イ蛙

右

破笠

竹^イの^イ奥^イ蛙^イや^イう^イあ^イり^イや

う^イあ^イう^イあ^イり^イや

う^イあ^イう^イあ^イり^イや

才十二番

丸持

小親

中よりと蛙ゆく柳分

七

二二四

多分とけ多柳のほろ蛙分

二木乃柳分ひよあひて緑

たな色えりさひかり記ト先

一木^{ヒト}の蛙をた乃枝末は多

をりけりとも風歌乃と

深柳のつらにともく違れる

未末乃りさみ既の印んと

一木乃りさみ既の印んと

志ほりさき表たつた乃

蛙と樹上よのありたつ

ゆらりくさるほろりさみ

浴りつたあひ玉篠も叢

萩のくさるあひさみ

たな志あひつらんし

歌音により好む随ひそ

けららあひさみ

此の巻はとて一巻のついでなり
古今乃等只この巻なり
身をたしめしきことくはえ
人たる心くはらちたはる
才十叩番
丸持
ちり

右

山店

あつたはる巻は達より
あつたはる巻は達より

うらな麻乃蛙屋又柳の
孫楚の舟のあつたはる巻を正
いふよもれりとのかたの
心向と文むひせやくたり
た右とも又勝負とといは
才十五支
いし

丸

橘義

義程一ノ家もやどは桂外

右勝

蕉栗

若其由明くつれくつれ流る
 九事可^キ造^ル辨^ルく^ハい^ハこ^ハ也
 常^ニあ^リま^シる^ハ乃^ハ痛^クな^ル也
 侍^ルこ^トゆ^ハし^テい^ハあ^リた^ル也
 お^もあ^ハち^ノ持^チ申^スこ^トい^ハ字^ハ心^ハ弱^ク
 也侍^ルん^ハ右^ニ流^ルま^シて^ハい^ハん^ハ
 く^ハい^ハん^ハ軽^クま^シる^ハい^ハま^シる^ハ
 く^ハ可^クな^ル侍^ルこ^トい^ハ
 才十六番

九

暴白

遠く^ハ州^ノ背^ヲを^シ流^ル蛙^ガ

右勝

く

評^ハい^ハ我^ノあ^リこ^トあ^リて^ハ蛙^ガ

州^ノ背^ヲ強^クま^シる^ハ蛙^ノの^ハけ^ハい^ハ
 あ^リあ^リり^ハあ^リあ^リて^ハ流^ルま^シる^ハ
 我^ノ子^トあ^リあ^リて^ハ又^ハ母^ノの^ハあ^リて^ハ
 魚^ノけ^ハあ^リあ^リて^ハ具^ハ柴^ト
 也^ハい^ハ海^ノの^ハ雛^ト見^ルハ^ハ母^ノ也

とく〜 睡里乳燕哺ホ鳥
その蝶〜 蝶之成所あり
風流乃外より成る也
實ありを惜しゆへし

才十七番

九 持

宗派

ちぬむをかつ手上下の蛙

七

嵐竹

釣竿や一るにつけある蛙

飛むを追入池とのり
雨人の名もか叶ふるの歌
物草に刈とめりけり
以る虫志くけり蛙幾行の
鳴をこゝろけり又捨り

才十八番

九 持

杉風

山井之墨のた月と子及蛙

七

蚊足

尾

尾、尾くくすの鳴あぬ蛙井
山井の蛙墨のたつとよ
くさつ蛙の心もくもて
しむ衣あふの氷汲僧
のいへい山井のあつとよ
なまのあつすまひも冷く
くす寸もあつす茶のあひ
さいのねまかつとよ
乃くくよさくもほひあつ

物くくさつくく山井のあつとよ
乃くくすの鳴あぬ蛙井
山井の蛙墨のたつとよ
くさつ蛙の心もくもて
しむ衣あふの氷汲僧
のいへい山井のあつとよ
なまのあつすまひも冷く
くす寸もあつす茶のあひ
さいのねまかつとよ
乃くくよさくもほひあつ

乃持

才十九番

丸勝

物を出さく人跡くらひ蛙声

七

ト宅
峡水

物出さく人跡くらひ蛙声

此番は判者物事とも名違、
日を倦く物も忘れゆく
し。一 仍て以判詞不審
たうらぬく

才九番

丸

うたのたきき 霧のなき音も雨声なり

七

ト宅

うたのたきき 蛙声、江乃星の歌

うたのたきき 蛙声、江乃星の歌
なを物事をさうさ州の庵
のよおのよけり 旗をたぐ
表わすし どのの文字

をば今くかきり形は情
けふは此の妙こそあら
まゝまゝあつきのち。餘
月あつ江のまじり
寒く星の影はあつ
て蛙に蛙の時出ぬ
艶ふるまはる物
青州池塘處に蛙
あつて
まじり半夜をさる

けふ夜は気色もは
多者所あふ九
塔の上り亦一
雙あつ

追加

鹿島より詣り
志間乃継

継指乃栗内
飛蛙不卜

頃之會深川芭蕉蓋印

群蟻鳴向以衆議判句

馳壳兼青蟻堂仙化子

撰馬年

芭蕉白居

芭蕉印

貞享三丙寅歲閏三月日

新草屋町西村梅風軒

芭蕉翁門他書目錄

子卯之里 其角輯 二冊 丙寅記 凡瀑集 一冊

續子卯之里 日輯 二冊 新の家 其角輯 一冊

花法見 日輯 二冊 續花法見 湖十輯 二冊

楚志袋 嵐雪輯 二冊 上云乃日 越人 一冊

蛙物之變 芭蕉其角 素堂仙化輯 一冊 柿 宗瑞 一冊

新二百款 其角輯 一冊 長樂寺千白 大石 一冊

皮影招 涼危輯 二冊 千載堂百方仙集 大石 五冊

批諧小傘 初心仕候 調室殿身集 一冊 批諧善後目錄 三冊

御寄小傘

贈送御寄其
御心付其

一冊

御寄小傘

三冊

長巻

京京轉

二冊

長巻

巻二百

其角轉

一冊

長巻

二冊

御寄

其角轉
其角轉

一冊

御寄

京京轉

一冊

巻

京京轉

二冊

巻

京京轉

一冊

御寄

日轉

二冊

御寄

其角轉

二冊

巻

日轉

二冊

巻

其角轉

一冊

巻

其角轉

二冊

巻

其角轉

一冊

御寄



三
看
甲
二
ラ
カ
ク

